

**ヨシ原の郵便配達**

せきね まさみ   
 関根 正実さん

**自然と地域の営みが混然一体の『里湿地』**  
 緑のヨシ原がどこまでも続く遊水地を、赤のバイクが走り抜けて行きます。一目で分かる郵便配達です(写真下)。自然と地域の暮らしが混じり合い、懐かしさや親しみが湧くのか、色の対比が「写真映え」するのか、自然観察の人に声をかけられ、カメラを向けられもします。私、関根正実(写真上)は、藤岡郵便局の郵便配達員です。平日のほぼ毎朝午前10時ごろ、交代制で遊水地内を走らせます。郵便局がある西側から遊水地に入り、渡良瀬川と巴波川の堤防沿いに直線距離で8kmほどを横断。東側の部屋、石川地区などの家々を回って一軒ずつ配達。夕刻の帰途、また通過します。道すがら、珍しい鳥やイノシシを見かける一方、見慣れたカラスやネコの姿も。季節の花々が咲き、「ああ、気持ちが良いなあ」。周りの人里と地続きの自然は楽しみが尽きません。遊水地は、栃木市が大半を占めて町を二分。独特の配達事情を生んでいます。多くの地域は外周に沿って県道などを活用。しかし、最も離れた対岸で、郵便量も局全体の一日約7千通のうち約1割を占める部屋地区など向けは遊水地横断の配達ルートが長く続いてきました。



ここに勤務して22年。デジタル化が進む今日ですが、今も手紙が配達されるのを待っている人がいて、一通一通の重みは変わりません。配達先でお年寄りに「お元気？」と声をかけ、農作業の人たちなどと言葉を交わす。地域の生活を支える仕事が自分に合い、やりがいを感じます。遊水地内は子どもの頃に魚釣りに通いました。自然と共存するこの風景が、ずっと続いてほしいですね。同郵便局は(☎62-2047)。



# 空き家・空き地

## 管理のお困りごとありませんか？

**除草作業**

**害虫問題**

**老朽化で倒壊**

**雷による火災**

**不法侵入**

**ゴミの投棄**

**お客様の声**

相続した土地を子供が家を建てられるようにそのままにしてありました。でも、他で建ててしまったので…使わないまま何年も建ててしまい、毎年の草刈りが大変でした。たまたま広告を見て、売却の相談をしたところ担当の方が土地を調べて金額も出してもらい、丁寧に対応していただきました。依頼から短期で決まり、手続きも終了し感謝しています。

K様

**不安・お金・労力…のお悩み解決しませんか？**

お問合せはこちら

**☎0282-24-5687**

**とちぎ未来開発(株)**

〒328-0075 栃木県栃木市箱森町36-17 <http://tochimira.co.jp>

営業時間/ AM9:00~PM6:00  
定休日/毎週水曜日

とちぎ未来開発 検索